

# ほつかいどう NIE 通信

Newspaper in Education



発行 北海道NIE推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内 ☎ 011-210-5802 FAX 011-210-5826

日本新聞協会(新聞教育文化部NIE担当)と北海道NIE推進協議会が認定する2011年度のNIE実践指定校がほぼ固まつた。協会認定を希望する学校は20日現在で正規枠29校、奨励枠3校の計32校。一方、道協議会の独自認定は10校が申請し、前年度と同じ計42校がほぼ内定した。

この制度で提供される新聞は最多8紙、提供期間は2カ月か4カ月。これまで寄せられた申請32校のうち、新規校は三笠小・旭川・高、さらに奨励校として札幌の大倉山小、三角山小、稚内中、厚別中、小樽・錢函中、札幌・厚別中、稚内中、帯広第四中、恵庭南高、富良野綠峰高、白糠高、さらには札幌・的場中、小樽・錢函中、札幌・厚別中と富良野綠峰高は協議会認定からの「転換組」。購読を始めるのは、4月が苦小牧西高等校で、全体の半数超が5月までに購読を始める。また、継続は小学校6校、中学校5校、中高一貫1校、高校7校の計19校。

## 11年度 稚内中など新規14校

# 実践校42校内定

幌の大倉山小、三角山小、稚内中、厚別中、小樽・錢函中、札幌・厚別中と富良野綠峰高は協議会認定からの「転換組」。購読を始めるのは、4月が苦小牧西高等校で、全体の半数超が5月までに購読を始める。また、継続は小学校6校、中学校5校、中高一貫1校、高校7校の計19校。

実践校は、09年度に協議会の独自認定枠を大幅に増やし、55校と過去最多を記録した。しかし、運営費などの関係で昨年度から例年並みに戻している。

内定した学校は次の通り。(丸数字は活動年数)

- 【協会認定】△継続 苦小
- 【協会認定】△継続 牧西高②鹿追小②石狩翔陽

うち最終3年目は新得、池田・高島、劍淵の3中学校と石狩翔陽、洞爺、室蘭大谷、江差高、砂川小、札幌・常盤中②江差高③砂川小②札幌・厚内小②劍淵中③函館稜北高③清田高③△新規短大部札幌學習センター。本年度は5月に開く当協議会総会で報告され、7月の日本新聞協会博物館・NIE委員会で正式決定する。

実践校は、09年度に協議会の独自認定枠を大幅に増やし、55校と過去最多を記録した。しかし、運営費などの関係で昨年度から例年並みに戻している。

内定した学校は次の通り。(丸数字は活動年数)

- 【協会認定】△継続 苦小
- 【協会認定】△継続 牧西高②鹿追小②石狩翔陽



## 活字に親しみ心豊かに

札幌市教委学校教育部長 金山 正彦

いよいよこの4月から、新しい小学校学習指導要領が全面実施となりました。この新指導要領において「言語活動の充実」が大きな課題として位置付けられています。また、メディア・情報リテラシーの視点からも、今、学校の教育活動における新聞の活用が注目されています。

このような動きの中、平成23年度から使用する小学校の教科書においては、新聞の活用が多く取り上げられています。その内容は例えば、「教科書を開くと新聞。読む力・考  
る力・養う」、「国語教科

の情報に触れさせながら、読み解力や表現力も養えるよう工夫しているものと思われます。

さて、札幌市教育委員会では、平成21年度から「札

書、新聞で読み解力を養う。記事の特徴紹介、紙面比較も」など、教科書の検定結果を報じた新聞の見出しからも読み取れます。各教科書とも、新聞を用いて最新

幌らしい特色ある学校教育」を推進してきました。この2年間で、各幼稚園・学校において、「雪」「環境」「読書」の3つのテーマについてさまざまな取り組みを行わせておりります。

を得ることで、「知的好奇心」が持続し、生涯にわたって学び続けようとする心を培っていくものであり、読書はまさに「学びの基盤」であるとこれら、位置付け

れたりします。これは、書だけでなく、新聞を読む場合にも同じことがいえます。子どもが情報を得る手段は、テレビやインターネット、電子メールなど多様化しておりますが、本や新聞に親しみ、新しい知識や情報を得たり、心を豊かにする喜びは、パソコンやインターネットが発達した現代においても変わることはありません。や

はり子どもたちには、実際に本や新聞を取り、何度も読み返して考察しながら、読み深めていくほど、わざと願っております。

## 11年度計画

## 宗谷で初のセミナー

## 計10カ所 空知は滝川で

現場の教職員の実践交流

を目的に、全道で開いてい  
る当協議会主催のNIEセ  
ミナーが、本年度は稚内市  
を含む10カ所で開かれる。

新設される稚内の参加対  
象は、留萌・宗谷管内の実  
践者が中心。「第1回稚内・  
宗谷セミナー」と銘打つて  
11月5日に同市内で、新聞  
活用授業を実践する小、中、  
高教諭による発表をも  
とに意見を交わす予定。

稚内は、道北の実践者を  
空知は滝川で

NIEの本年度の計画では、セミナーは釧路を皮切りに道内10カ所を予定。6月は釧路と函館、9月は北

中心に数年前から開催が検討され、道教委などの協力でようやく開催のめどがついた。

NIEの本年度の計画では、セミナーは釧路を皮切りに道内10カ所を予定。6月は釧路と函館、9月は北

見と江差、さらに10月に岩見沢で開いていた空知を初めとしている。5月の協議会で正式に決定する。

協議会の日下部憲一コーディネーターは「できるだけ踏まえた活発な論議の場にしてほしい」と話している。

## 財団が組織変更

## 新聞協会と合併

全国のNIE推進組織の母体として新聞博物館などを運営する日本新聞教育文化財団が3月1日付で日本新聞協会に吸収合併され、協会の一組織として再スタートした。

旧財団事務局が「日本新聞協会横浜事務所」となり、各部責任者は次

財団各部は同協会新聞教育文化部の各「担当」へ名称が変わった。

全国センターは引き続き

横浜に置く。

新聞教育文化部のNIE担当は、4月から日本新聞協会事務局内に設置。NIE全国センターは引き続き

## NIE実践奮闘記

NIEの実践を始めて  
5年がたちます。これまで  
でも社会科の授業では、  
時事問題を紹介してきま  
した。同時に多発テロを取  
り上げたり、米海兵隊員  
としてベトナム戦争を体  
験し、心的外傷後ストレ  
ス障害(PTS defense)に苦  
しみながら戦争の悲惨さ  
を訴えたアレン・ネルソン氏の講演の感想をまと  
めたりすることで、国際  
問題などへ関心を持たせ  
ることを心がけてきました。  
しかし、これらは刺激  
にはなっても、「一過性  
のもの」という感じがぬ  
ぐえなかつた時に、NIE

Eの取り組みを紹介して  
もらいました。そして、毎日  
の社会の出来事に、「自分  
から興味・関心を持ち」「  
続けることができる」と  
新聞を活用すること

し、意見をまとめます。  
はじめは意見というよ  
り、感想が多く、人ごと  
のようなコメントも目立  
ましたが、「なぜ、そう  
感じたの?」「解決のため  
に何ができる?」などと  
返すうちに、問題に対し

その違いを尊重すること  
を実感してくれたと思いま  
す。発表する生徒も、自分の  
考え方を伝えた達成  
感、自己肯定感を持つこ  
とができると思います。

発表後、生徒の発言内容を否定せずに、さまざま  
なとらえ方があること  
や簡単な解説をします。  
死刑制度や臓器移植、政  
治献金、国際テロ、環境、  
ごみ収集、医療などの問  
題、自然災害などさまざ  
まな分野なので、毎回補

充するなどで、相手に  
伝えるための声の出し方  
や、物事に対する意見の  
違いがあること、また、

## 意見発表 違いを尊重

北星学園女子中学高校教諭 貞広 康子



になりました。  
になりました。  
になりました。

生徒たちは、スクラッ  
プノートを作成し、発表  
します。芸能・スポーツ  
以外の記事を選び要約

5分間を利用しました。  
深く考え、意見を述べる  
生徒が増えてきました。  
発表は、授業の最初の

5分間を利用しました。  
発表することで、相手に  
意見が述べられることが  
できました。家族のコミ  
ニケーション・ツール  
の2つの1日本プレスセン  
タービル8階F03・3

2029  
【新聞教育文化部NIE  
担当】〒100・8543  
東京都千代田区内幸町2  
591・4410、FAX03・3

## NIEセミナー予定

第10回釧路	6月10日
第10回函館	6月24日
第9回北見・オホーツク	9月10日
第5回江差・檜山	9月24日
第8回滝川・空知	10月15日
第11回旭川・上川	10月28日
第1回稚内・宗谷	11月5日
第5回苫小牧・日高	12月3日
第8回室蘭・胆振	2月4日
第10回帯広・十勝	2月11日

に移行する必要があること  
にしたい。新学習指導要  
から検討に着手。財団の單  
独移行には財政上問題があ  
るとして新聞協会と合併  
し、安定化させることにな  
った。合併により、別だつ  
た法人運営・経理処理の負  
担が軽減できる。

貿易自由化による「開国」か、国の基盤となる農業の保護か。環太平洋連携協定(TPP)への交渉に参加すべきかどうかを、北海道農業や自分の暮らしとの関連で考える授業が札幌市立宮の森中で行われた。関税撤廃で産業を活性化させたい経済界と、安い輸入作物との競争を迫られる農家の反発など、タイムリーな話題を記事から考えた授業をリポートする。

(北海道NIE推進センター委員 大井一樹)

# TPP議論白熱

授業は3月初め、2年生を対象に行われた。貿易を通じて日本と世界の結びつきを考える、地理的分野の特設単元。4月から手稲東中に転任した及川永江教諭は「TPPから北海道の暮らしを考える」という3時間の指導計画を立て、前2時間で北海道新聞の連載記事などから「道内農家の暮らしからTPPを理解する」と要理解する授業にあたった。

TPPは、シンガポールなど4カ国で2006年に発効。オーストラリアなど5カ国も参加表明し、秋の締結拡大へ向け交渉が進んだ。TPPは、2011年にはNIE担当(1月)の行事として、第2回「いっしょに読もう!新聞コンクール」を行った。家族や友人と記事を読み、感想や意見を書いて応募してもらう形で、自分の感想や意見表明だけでなく、周囲の人の意見も聞き、考える機会を持つてもいる。

日本新聞協会新聞教育文化部(NIE担当)は、NIEの行事として、第2回「いっしょに読もう!新聞コンクール」を行った。家族や友人と記事を読み、感想や意見を書いて応募してもらう形で、自分の感想や意見表明だけでなく、周囲の人の意見も聞き、考える機会を持つてもいる。

【応募要領】小、中、高校生が対象で、応募

## 札幌・宮の森中 いっしょに読もう!新聞

は本人のみ。2011年1月1日～9月25日は、NIE月間(1月)の行事として、第2回「いっしょに読もう!新聞コンクール」を行った。家族や友人と記事を読み、感想や意見を書いて応募してもらう形で、自分の感想や意見表明だけでなく、周囲の人の意見も聞き、考える機会を持つてもいる。

想や意見③家族や友だちの意見や話し合った内容④家族や友だちの意見を聞いた後の自分の意見、感想、提言などを読み、感想や意見を選んだ理由、読んだ感

### コンクール応募を

9月30日 締め切り

ピートと共に送る。宛て先は下記。用紙は協会NIEホームページ( <http://nie.jp/> )からダウンロードできる。

【締め切り】9月30日  
〔金〕当日消印有効

### 札幌・宮の森中

未来のシナリオ記事などをもとに TPP問題を考えた宮の森中2年生の授業



賛成意見は「日本は農業国ではなく、工業国だからTPPは必要。工業の方が雇用の増加も見込める」「参加したら、肥料や種苗が安く買える」「日本はここで変わらチャンス」など。一方の反対意見は「せつかり安い原材料が入つても安いい労働力を求めて工場が見交わした。

賛成意見は「日本は農業国ではなく、工業国だからTPPは必要。工業国だから雇用の増加も見込める」「参加したら、肥料や種苗が安く買える」「日本はここで変わらチャンス」など。

一方の反対意見は「せつかり安い原材料が入つても安いい労働力を求めて工場が見交わした。

**実践校リポート**

9月30日  
〔金〕  
210・5802か、〒100・8543東京都千代田区内幸町2の2  
中、高校各1点、「審査員特別賞」1点、「優秀賞」小、中、高校各10点。  
ほか「奨励賞」、「学校賞」も。結果発表は11月  
下旬に新聞、ホームページ

想や意見③家族や友だちの意見や話し合った内容④家族や友だちの意見を聞いた後の自分の意見、感想、提言などを読み、感想や意見を選んだ理由、読んだ感

形で、自分の感想や意見表明だけでなく、周囲の人の意見も聞き、考える機会を持つてもいる。

【応募要領】小、中、高校生が対象で、応募

### 5月14日に総会 小原教授が講演 新指導要領を解説

引き続き、実践報告をする。

引き続き、実践報告を予定。加藤理恵・札幌市立三角山小教諭が「新聞スクラップなどの実践」、札幌北陵高の喜多理賀教諭が「読解力、文章力を高める新聞活用」などについてそれぞれ報告する。

海外に出て行つたら国内生産できず、意味がない」「日本は安全だが、輸入品は何を使つていてかわからず、心配」などだった。議論は途中から熱を帯び、授業終了のチャイムが鳴るまで続いた。楽観的な記事を読んだグループは賛成に、悲観的な記事のグループは反対に回る生徒が多く、挙手による賛否は37人外すとどうなるか、など「近未来的北海道」を樂観。

# 現場で読み解く

## 新 学習指導要領

1



こばら・ともゆき 日本NIE学会会長。島県NIE推進協議会会長。「思考力・判断力・表現力」をつける社会科授業デザイン中学校編(明治図書出版)など著書多数。1951年、広島県生まれ。

それは、単に知る・分かることだけでなく、その背景を熟考し、それに対する自分なりの意見や考えを持ち、それを表現しながら社会への参加・参画を考えていく力の育成である。

では、なぜそのような学力が重視されているのであらうか。その理由としては、それがPISA(※)は、それがPISA(※)型読解力に代表される世界の参加・参画を考えていく力の育成である。

二つの読み解き方は、学習指導要領を「粉ミルク」のようなものととらえ、そこには含まれている「栄養」は何か、それをどのように「お湯」で溶けば子どもたちに飲みやすくなるのかを考えしていくことである。

「栄養」とは、これから時代を生きていくために必要な生涯学習の基盤となる学力(目標)であり、「お湯」な授業が求められていくことになる。

そのためには、子どもたちが基礎的な知識・技能を活用して課題を解決していくようするために必要な思考力、判断力・表現力」や「情報読解力」を育成する授業づくりにとって、NIEは大変有効と考えられる。なぜなら、新聞そのものがニュースの背景を考え、それに対する意見や考えを表現したものだからである。

その意味で新聞は、「思考力・判断力・表現力」を育成する学習材として最適である。また、子どもたちが意見や考えを発信する新聞形式での表現活動は、そのための有効な学習活動であるとも言えよう。

福井に次ぐ静岡大会は第18回大会となる。主管社は静岡新聞社で、日程は7月下旬で調整している。

なお、7月25、26の両日開催される青森大会のスローガンは「読み解く力新

新聞を使って情報活用能力を育てる新学習指導要領が本年度、小学校を皮切りにスタートした。これをどう授業に生かしていくべきよいか、専門に研究する道内外の大学の先生たちに、考え方や読み解くヒントなどを解説してもらった。

(6回連載します)

教育課程の基準である学習指導要領の読み解き方としては、二つ方法が考えられる。一つは、次の三つの特徴・技能を活用して課題を解くために必要な「思考力・判断力・表現力」を育成することを重視してい

②はそのような特色が生まれる背景を「説明する」ためのものである。そして③はどう実践すればよいかを「判断する」ための問い合わせである。

判断力・表現力その他の能

とは教師による授業そのものである。

力はぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない」となっている点が考えられる。

このような「思考力・判断力・表現力」を育成するためには、社会的事象や課題の背景を熟考し、それに対する意見や考えを持ち、

の三つである。①は、新学習指導要領の特色を「記述する」ための問い合わせである。

「お湯」を活用して課題を解決するためには、これらを活用するとともに、こ

とに飲みやすくなるのかを考えていくことである。

「お湯」で溶けば子どもたちに飲みやすくなるのかを考えていくことである。

「お湯」で溶けば子どもたちに飲みやすくなるのかを考えしていくことである。

## 授業づくりに新聞最適

教育課程の基準である学習指導要領の読み解き方としては、二つ方法が考えられる。一つは、次の三つの特徴・技能を活用して課題を解くために必要な「思考力・判断力・表現力」を育成することを重視してい

①「どのような」②「な

ぜ」「③「どうしたらよいか」

新聞を使って情報活用能力を育てる新学習指導要領の大きな特徴の一つは、基礎的な知

識・技能を活用して課題を解くために必要な「思

考力・判断力・表現力」を育成することを重視してい

る点である。

※PISA=経済協力開発機構(OECD)

生徒の学習到達度調査

## 編集後記

○…「想定外」の大災害に見舞われた被災地の方々には、かけることばもない。いらぬ混乱を招かなければよい抑制的報道を心掛けるのがマスコミの責務だが、個人的には不満が募る。余震の問題もあるが、放射性物質による汚染が止まらない。根拠の薄い「安全神話」にすがってきたツケが回ったという気がしてならない。

○…産業用ロボットの、日本の技術水準は高いのに、被爆の不安で冷却施設への放水ができなかつた。「首都直下型の地震が起きる」といわれて久しいのに、その備えもなかったのか。命懸けの注水作業と聞いて「いまは竹やりの時代でもなかろうに」とも思う。○…ネットで瞬時に、情報が世界を飛び交う時代。しかし、原子炉建屋への放水など、その場しのぎの対応を見るにつれ、開発一辺倒の、日本の発展がいかに脆弱(せいじやく)だったかがわかる。地に足つけた工業技術開発と、心を育む教育環境の整備が先決ではないか。

(大)

## 13年度は静岡で NIE全国大会

お知らせ

今回の新学習指導要領に含まれている「栄養」とは、「関心・意欲・態度」「思考力・判断力・表現力」「技能」「知識・理解」という4

大栄養群のバランスがどれだけではなく、その背景を熟考し、それに対する自分なりの意見や考えを持ち、それを表現しながら社会への参加・参画を考えていく力の育成である。

トから学ぶことや、そのよ

うな活動を行っていくこと

が必要である。それは、NIEの学習そのものでもあ